

第1回 東区まちづくり懇談会 要旨

1 日時 平成31年2月14日(木)、14:30~16:30

2 場所 東区役所 5階 講堂

3 出席者

(1) 委員 (委員16人のうち15人出席)

林 武広	中井 公孝	古川平三郎	森平 茂章	秋本 昇
栗栖 和子	斎木 俊彦	佐伯 利明	向井 春代	谷本 合一
川尻 七美	下河内一成	大西 知子	川野 幸代	峠井 克己

(2) 東区役所

東区長、副区長、厚生部長、建設部長、東消防署長、区政調整課長、地域起こし推進課長、地域支えあい課地域支援担当課長、東消防署副署長、地域起こし推進課職員

(3) 企画総務局政策企画課

総合計画担当課長、政策企画課職員

4 議題

(1) 座長及び副座長の選出

(2) 東区のまちづくりの方向性(案)について

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴人

(1) 一般傍聴者 0名

(2) 傍聴者(報道関係) 0名

6 会議資料名

東区まちづくり懇談会委員名簿

東区まちづくり懇談会配席表

資料1 広島市総合計画審議会の審議状況について

参考資料1 広島市が直面する中核課題に対する対応策の検討について

資料2 東区まちづくり懇談会開催要綱

東区まちづくり懇談会運営要領

東区まちづくり懇談会の公開に関する取扱要領

資料3 東区まちづくり懇談会の進め方について

資料4 新しい基本計画と第5次基本計画の構成の比較

資料5 東区のまちづくりの方向性(案)について

参考資料2 東区まちづくり懇談会委員へのアンケート集計結果

7 議事内容等

(1) 区長あいさつ

(2) 委員紹介

(3) 広島市総合計画審議会の審議状況について

資料1及び参考資料1により、企画総務局政策企画課より審議状況の説明を行った。

- (4) 東区まちづくり懇談会開催要綱等について
資料2により説明を行った。
- (5) 東区まちづくり懇談会の進め方について
資料3及び資料4により説明を行った。
- (6) 座長及び副座長の選出
座長には林委員が、副座長には中井委員が選出された。
- (7) 東区のまちづくりの方向性（案）について
資料5及び参考資料2により、説明を行った。

8 発言要旨

- (3) 広島市総合計画審議会の審議状況について

古川委員

- ・ 第5次基本計画の予算規模はどのくらいだったのか。予算規模が分からないとどんな意見を出したらいいのか分からない

政策企画課総合計画担当課長

- ・ 総合計画で予算までは決めておらず、総合計画に基づき、毎年度の予算編成で決めている。平成31年度の一般会計の予算規模が約6,700億円なので、毎年度6,500億円程度だと考えてもらいたい。

- (7) 東区のまちづくりの方向性（案）について

古川委員

- ・ 「もてなしのまちづくり」についてイメージがわかりにくい。もう少し具体的なイメージに向かって走らないと、言葉だけが走っては「もてなしのまちづくり」はできない。よその都市も含めて研究してほしい。大勢の人が東区に集まるようなイメージが出来上がればいいのかと思う。

中井副座長

- ・ 東区は工場が多いわけでもないし、大部分が住宅専用地域だと思う。住民が安全に生活できるかというところ1点で絞り込んでもいいのではないかな。
- ・ 団地でも高齢化が進んでいるのにバスが入っていないところがある。そのような地域で交通弱者をどう支援していくかという問題に展開していくと思う。住民が住みやすいまちづくりにテーマを絞っていくのが良いのではないかな。
- ・ 案を作るときにまず東区の資産とはなにかを出していくべきではないか。課題ばかりではなく、東区特有の資産をいかに活性化するかを広げていくのが良い。

古川委員

- ・ 地域資源について、広島駅新幹線口の裏には牛田山がある。（広島は）平和活動が盛んなので小中高校生や外国人が多く訪れるが、宿泊場所がない。牛田山を削れば防災上も助かるし、駅に近い場所に宿泊できる設備を作ることが出来る。世界中から集まる人が安く泊まれる大規模な場所を提供するというように、開発するというのも地域資源の活かし方だと思う。

大西委員

- ・ 今回の4つの方向性の案の中で、3つの継続課題は賛成だが、4つ目をどのような方向性に持っていくか。
- ・ 「地域資源を生かしたにぎわいづくり」があるが、東区には日本一のシリーブカガシや伝統行事など豊かな資源がある。その中で10年間東区民や職員の動きをみると、非常に国際的な新たな平和の灯が七社寺に当たっている。それをもっと全国に、世界にと常に思っている。区役所が前向きに行政として取り組んでいる企画を、具体的で良い方法でPRしてほしいと思う。

林座長

- ・ 今おっしゃっていることはアクションプランの中の話であると思う。具体的なことは第2回で話そうと考えているので、今日は方向性について話してほしい。目標である方向性がなければアクションプランも決まらない。
- ・ どんな地域資源があるのか、それをどう知らせていくのかなど地域に詳しい委員の皆さんに次回会議で示していただければと思っている。

森平委員

- ・ まちづくりの方向性についてはこの4つで良いと思う。アクションプランをいかに考えていくかだと思うが、第5次基本計画についてのアクションプランはどの程度実現されたのか、反省点など何かを話してもらえれば、次のアクションプランを組む時に参考になるのではと思う。

地域起こし推進課長

- ・ 区役所の取組について、今まではアクションプランという名前で位置づけてなかったが、今回新しい基本計画の中では、皆さんにわかりやすい位置づけで取り組みについて決めていこうと思う。

建設部長

- ・ 第5次基本計画とは市の計画なので大きな視点で進んでいくものである。その中に8区がそれぞれキャッチフレーズや将来像を決めてどういうことをしていくかが入っているだけで、細かい取組が盛り込まれてなかったのが実情である。

中井副座長

- ・ そうすると地域と役所の分担が出てくるので地域の負担が多くなるのでは。

建設部長

- ・ そういう部分もあるが、その中で行政としてどういう支援が可能か、あるいは手を取り合っていることもあるだろうし、棲み分けは当然出てくると思うので、今後アクションプランについて議論する中で議論していければいいと思う。
- ・ 皆さんが取り組むべきと考えられているものが、この4つの方向性のどこに入るのかといった視点で考えていただければと思う。

齋木委員

- ・ 4つの方向性の中は何が加わるかどうかということについて、アクションプランの中で、自分が地域団体として発言した意見が、検討されないならば、自分が会議に出席する意味はないと考えているがどうか。

東区長

- ・ ぜひ、いろいろな御意見を頂戴したいと思う。

古川委員

- ・ 全体的に人口減少、高齢化、町内会加入率の低下が言われているが、その中で防災防犯や
支え合い、地域資源をいかすことや、もてなしのまちづくりというのは非常に難しい課題だ
と思う。
- ・ 省エネ化するためにA Iでの活動をしてほしい。広島市立大が取り組んでいる防犯カメラ
などを、河川状況の中継に活用し、防災対策に取り入れることを検討してほしい。

林座長

- ・ A Iの話は4の安心・安全のアクションプランに入るだろう。
- ・ 具体的なものは次回ご提案いただき、これまでのものを踏まえて、もっとこういったもの
があるというような提案を頂ければと思う。

森平委員

- ・ 広島市が直面する中核課題の1と2について、地域の活性化をいかに図るかを取り上げて
いる。高齢化問題や町内会の加入率維持など地域で中心적으로取り扱われている課題なので東
区のまちづくりの方向性にも、「活気のあるまちづくり」を取り入れてほしい。
- ・ 地域共生社会の実現に取り組んでいるが、それと町内会の加入率低下や役員の担い手不足
の問題とは違うように感じる。「安心・安全で、元気なまちづくり」というような形で4の
方向性の中に取り入れてもらうのが良いかもしれない。

林座長

- ・ 概ね、案の4つの方向性で良いという意見だと思う。皆さんの意見を預かり、協議しなが
ら微修正をしていきたいと思う。微修正は行政のみで行うのではなく委員会で行う。

地域起こし推進課長

- ・ 微修正の案ができれば、次回会議までに早めに皆さんに送るようにしたいと思う。

閉会